

UwView 取扱説明書（README）

大容量テキストビューア UwView バージョン v1.6.6.1 / 2026年9月

■ 性能（実測）

3GB／10GB／50GB のテキストファイルで比べると、探すだけなら ripgrep と、開くだけなら klogg と同等の速さです。「探して、当たった行を画面で開く」までを uvf コマンド（uvf ファイル 検索語 -open）で1回で行うと、ripgrep で探して klogg で開く場合と比べて、10GB・50GB で約2倍の速さになります。

ファイルサイズ	ripgrep で探す + klogg で開く	UwView（uvf … -open）	速さの比
3GB	4.21秒	3.40秒	約1.2倍
10GB	22.73秒	10.42秒	約2.2倍
50GB（51.25GB）	108.1秒	50.76秒	約2.1倍

測定条件：同じ Mac・毎回キャッシュを消した状態（遅いほうの条件）・OpenStreetMap の XML で語「東京」を検索。詳しい条件と他の結果は blog サイト（下記「公式サイト」）に載せています。

■ ソフトの概要

UwView は、巨大なテキストファイルを省メモリ・高速に閲覧・検索できる、閲覧専用のビューアです。一般的なテキストエディタでは開けないような大容量ログや、RDB・XML のダンプ、点群や GIS などの膨大な行数のデータを「とにかく速く見る」ことに特化しています。ファイル全体をメモリに読み込まず、見えている部分だけを描画するため、数十GB・億単位の行数のファイルでも、開いた瞬間から閲覧できます。

かつて Vector で公開していた UwView（最大5000万行）を、Avalonia／.NET で全面的に作り直したものです。実測では、米国全域の OpenStreetMap を展開した 258.68GB・45億行のファイルまで、閲覧と検索を確認しています（実際の行数の上限は未確認です）。

検索用のコマンド uvf を同梱しています。コマンドプロンプトや PowerShell から、ファイルを探して、当たった行を画面（UwView）で読むところまでを1回で行えます（下記「使い方（uvf コマンド）」）。

主な機能：開いた瞬間の即時表示（ページモード）／文字コードの自動判定（UTF-8・Shift-JIS・EUC-JP・UTF-16）／全文検索・正規表現検索／検索結果の一覧（元の行番号つき・ジャンプ・前後の行・保存）／ヒット行だけのフィルタ表示／複数キーワードの色分けハイライタ（プリセット付き）／gzip（.gz）を展開せずに開く・検索する／行番号・割合でのジャンプ／追記追従（Tail）／横スクロール／ブックマーク・お気に入り／複数ファイルのタブ表示／前回のセッションの復元／uvf コマンド。

■ 取り扱い種別

フリーソフト（無料）です。個人利用も、会社の中での業務利用も無料です。シェアウェア登録や送金は不要です。寄付は任意です（GitHub Sponsors）。

（より高速な有償版「UwView Pro」がありますが、それは別製品です。本ソフト＝無料版の利用は完全に無料です。）

■ 動作環境

- ・ Windows 10 / Windows 11（64bit・x64）。同封の UwView は Windows（x64）用です。
- ・ .NET ランタイムを同梱した自己完結型のため、別途 .NET のインストールは不要です。
- ・ Windows（ARM64）・Linux・macOS 用は、GitHub サイト（下記）からダウンロードしてください。
- ・ 3GB 程度までのファイルなら、インストール不要の Web 版（ブラウザで動く版）でも十分実用的です。Web 版を試すなら GitHub サイトから。
- ・ 最新版は GitHub サイトから、操作説明と最新情報は blog サイトをご覧ください。

■ 公式サイト

GitHub サイト	ソースコード・最新版のダウンロード・Web 版 https://github.com/amru195704/UwView Web 版： https://amru195704.github.io/UwView/
blog サイト	操作説明・最新情報（性能の測定結果はこちら） https://uvp.y42u.net/

■ 同梱ファイル

UwView.Desktop.exe	本体（画面）。ダブルクリックで起動します。
uvf.exe	検索コマンド。UwView.Desktop.exe と同じフォルダーに置いたまま使ってください。
UwView_README_ja.pdf	本書（取扱説明書）。
LICENSE / LICENSEjp.txt	使用許諾（英語の正文／日本語の参考訳）。

■ インストール方法

1. 配布されている ZIP ファイルを、任意のフォルダーに展開（解凍）してください。
2. 展開したフォルダー内の「UwView.Desktop.exe」をダブルクリックで実行します。
3. （任意）uvf をコマンドとして使う場合は、画面のメニューから「コマンドライン設定…」を選んでください。
展開したフォルダーがユーザー環境変数 PATH に追加され、新しく開いたコマンドプロンプト／PowerShell で「uvf」と打てるようになります（管理者権限は不要です）。
インストーラーはありません。フォルダーを置くだけで動作します。レジストリの変更も行いません（手順3を行った場合に限り、ユーザー環境変数 PATH にフォルダーを1つ追加します）。
※ 初回起動時に Windows の SmartScreen が表示された場合は、「詳細情報」を押してから「実行」を選択してください。

■ アンインストール方法

1. 手順3で PATH に追加した場合は、Windows の「環境変数を編集」（ユーザー環境変数）で、Path から展開したフォルダーの行を削除してください。
2. 展開したフォルダーごと削除してください。これで本体は完全に削除されます。
3. 設定情報も消す場合は、次のフォルダーを削除してください：
%AppData%\UwView\（settings.json：言語・検索履歴・最近使ったファイル・お気に入り等を保存）

■ 使い方（画面）

- ・起動画面の「ファイルを開く…」、または「最近使ったファイル」「お気に入り」のダブルクリックで開きます。開いた瞬間から閲覧できます（索引は裏で作られます）。.gz ファイルもそのまま開けます。
- ・上部の検索欄にキーワードを入力して検索します。「正規表現」「大小無視」を切り替えられます。「◀ 前へ」「次へ ▶」でヒット位置を移動、「フィルタ表示」でヒット行だけを表示します。
- ・「結果一覧」で、検索結果を別ウィンドウに一覧表示します。元の行番号つきで、クリックで本文の該当行へ移動し、前後 ±N 行を添えてテキストファイルに保存することもできます。
- ・「ハイライタ」で複数のキーワードを色分け表示できます。同梱プリセット（Web アクセスログ・syslog 等）も利用できます。
- ・「ジャンプ」欄に行番号や「50%」のような割合を入力して移動、「Tail」で末尾への追記追従ができます。
- ・画面幅を超える長い行は、横スクロールで読めます（横スクロールバー、トラックパッドの横スワイプ、Shift+ホイール、←→キー。Home で行頭、Ctrl+Home でファイル先頭）。行番号は左に固定されます。
- ・ブックマーク、★（お気に入り）、複数ファイルのタブが使えます。次の起動時に、前回開いていたファイルを復元できます。

■ 使い方（uvf コマンド）

コマンドプロンプトまたは PowerShell で使います。書き方は次のとおりです。

uvf ファイル 検索語 [オプション]	検索して「行番号<TAB>本文」を出力
uvf ファイル 検索語 -open	検索して、結果を画面（UwView）で開く
uvf -open [ファイル] [検索語]	画面を起動（ファイル・検索語は省略可）

-i	英字の大文字・小文字を区別しない
-E	検索語を正規表現として扱う
-v	当てはまらない行を出す
-open	結果を画面で開く（-i/-E/-v と併用可。先頭か末尾に1回だけ書きます）

終了コードは grep と同じく、0=見つかった、1=見つからない、2=エラー です。例：

```
uvf app.log ERROR -open
uvf app.log.gz "timeout|refused" -E -i
```

-open で開いた画面は、もう一度探し直しません。uvf が見つけた位置をそのまま結果一覧に並べるので、コマンドが終わるとすぐに一覧が表示されます。空白を含む検索語はダブルクォート (") で囲んでください。

■ 制限事項

- ・1行の表示は先頭 8,192 文字までです（それ以降は「…（省略）」と表示して打ち切ります）。横スクロールで読める範囲もここまですとなります。これは表示速度を最優先するための仕様です。
- ・画面での表示・検索は、改行コード LF／CRLF／CR単独（旧Mac形式）と UTF-16 に対応しています。ただし uvf コマンドの出力（画面を使わない検索）は LF (0x0A) で行を区切るため、CR単独や UTF-16 のファイルでは行の区切りが正しくなることがあります。そうしたファイルは -open で画面に出してください。
- ・.gz の中に1行が 64MiB（ASCII で約6,700万文字）を超える行があり、その行が検索に一致した場合、「ファイルが壊れている」という趣旨のエラーになることがあります（ファイル自体は壊れていません）。該当するファイルは、展開してから開いてください。
- ・Tail（追記追従）は、ファイル末尾への追記にのみ対応しています（切り詰め・ローテーションには追従しません）。
- ・Shift-JIS のファイルで正規表現を使わない検索をすると、まれに文字の境目をまたいだ誤ヒットが出ることがあります。厳密に探したい場合は「正規表現」をオンにしてください。
- ・閲覧専用のビューアです。テキストの編集・保存機能はありません（検索結果の保存はできます）。

■ 作者への連絡先

開発者：丸山祐治（Y4U）／ amru195704

お問い合わせ・不具合報告（掲示板）：GitHub Issues <https://github.com/amru195704/UwView/issues>

公式サイト：GitHub サイト（ソース・最新版）<https://github.com/amru195704/UwView>／blog サイト（操作説明・最新情報）<https://uvp.y42u.net/>

■ ライセンス

PolyForm Internal Use License 1.0.0。ソースは公開しています。個人利用および企業の社内業務利用は無料です。本ソフトの再配布・製品やサービスへの組み込み・転売を行う場合は、別途、作者からの商用ライセンスが必要です。詳細は同梱の LICENSE ファイル（日本語の参考訳は LICENSEjp.txt）をご確認ください。

■ 免責事項

本ソフトは「現状のまま」提供され、いかなる保証也没有ありません。本ソフトを使用した結果、いかなる損害が発生しても、作者は一切の責任を負いません。自己責任でご利用ください。